

平成 27 年 7 月 12 日 (日) 施行

第 179 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 仕入原価 ¥200,000 と諸費用 ¥20,000 を積送品勘定へ振り替える。
2. 前期末に以下のとおり見越し計上している。

(借) 支払利息	24,000	(貸) 未払利息	24,000
----------	--------	----------	--------

これを当期首に再振替。

3. 当期純利益は繰越利益剰余金（純資産）に振り替える。
4. 本店、各支店の仕訳は以下のとおりである。

本店	(借)	宮崎支店	75,000	(貸)	鹿児島支店	75,000
鹿児島支店	(借)	本店	75,000	(貸)	仕入	75,000
宮崎支店	(借)	仕入	75,000	(貸)	本店	75,000

5. 完成までに支払っていた ¥1,500,000 は以下のように処理してある。

(借) 建設仮勘定	1,500,000	(貸) 現金等	1,500,000
-----------	-----------	---------	-----------

これが完成したので建設仮勘定と未払金 ¥2,000,000 を合わせて建物に振り替える。

6. 手形代金 ¥500,000 と、償還請求に関する諸費用 ¥3,000 をすべて不渡手形（資産）で処理する。
7. 払込金額は、発行価額 ¥20,000,000 × (¥98 / ¥100) = ¥19,600,000
社債の発行に要した諸費用は社債発行費勘定で処理する。

第 2 問

① 期末純資産(資本)

期首貸借対照表				期末貸借対照表			
現金・預金	375,000	買掛金	398,000	現金・預金	398,000	買掛金	482,000
売掛金	425,000	期首純資産	1,091,000	売掛金	551,000	期末純資産	1,172,000
商品	689,000			商品	705,000		

期末純資産 = 期末資産 - 期末負債

$$= (\text{¥}398,000 + \text{¥}551,000 + \text{¥}705,000) - \text{¥}482,000 = \text{¥}1,172,000$$

② 売上総利益

純売上高 = 当期総売上高 - 当期売上返品高 = ¥5,175,000 - ¥88,000 = ¥5,087,000

純仕入高 = 当期総仕入高 - 当期仕入返品高 = ¥4,293,000 - ¥53,000 = ¥4,240,000

仕入				損益計算書			
期首商品	689,000	売上原価	4,224,000	売上原価	4,224,000	純売上高	5,087,000
純仕入高	4,240,000	期末商品	705,000	原価以外の費用	X	売上以外の収益	248,000
				当期純利益			

売上原価 = 期首商品 + 純仕入高 - 期末商品

$$= \text{¥}689,000 + \text{¥}4,240,000 - \text{¥}705,000 = \text{¥}4,224,000$$

売上総利益 = 純売上高 - 売上原価 = ¥5,087,000 - ¥4,224,000 = ¥863,000

③当期純利益

期末純資産＝期首純資産＋資本追加元入高－資本引出高＋当期純利益より

$$¥1,172,000 = ¥1,091,000 + ¥358,000 - ¥586,000 + \text{当期純利益}$$

$$\text{当期純利益} = \underline{¥309,000}$$

④売上原価を除く期間中の費用総額 X

損益計算書の貸方合計は ¥5,087,000 + ¥248,000 = ¥5,335,000

当期純利益は ¥309,000 なので、費用総額は ¥5,335,000 - ¥309,000 = ¥5,026,000

$$\text{このうち、売上原価が } ¥4,224,000 \text{ より、} X = ¥5,026,000 - ¥4,224,000 = \underline{¥802,000}$$

第3問

解答用紙と問題文から、**現金収納帳、現金支払帳、当座預金出納帳、売上帳、仕入帳**を特殊仕訳帳として用いている。勘定科目のうち、**現金、当座預金、売上、仕入**に関しては、月末に合計転記するので、仕訳帳の元丁欄は「✓」を記入する。売掛金は得意先(売掛金)元帳の丁数を記入する。

				(元丁)					(元丁)
6月19日	(借)	売掛金	180,000	得2	(貸)	売上	180,000	✓	
22日	(借)	現金	100,000	✓	(貸)	当座預金	100,000	✓	
23日	(借)	現金	250,000	✓	(貸)	売掛金	250,000	得1	
26日	(借)	現金	120,000	✓	(貸)	売上	320,000	✓	
		売掛金	200,000	得1					
29日	(借)	売上	10,000	✓	(貸)	売掛金	10,000	得1	

第4問

1. 広島商店へ売上 ※5伝票制なので、売上傳票の金額はすべて売掛金となる。

売上金額 ¥500,000 ⇒ 売上傳票

(借) 売掛金	500,000	(貸) 売上	500,000
---------	---------	--------	---------

代金のうち ¥300,000 は当座預金に預け入れ ⇒ 振替伝票

(借) 当座預金	300,000	(貸) 売掛金	300,000
----------	---------	---------	---------

発送費 ¥25,000 は現金払い ⇒ 出金伝票

(借) 発送費	25,000	(貸) 現金	25,000
---------	--------	--------	--------

2. 岡山商店に対する売掛金の回収

売掛金 ¥140,000 を現金で回収 ⇒ 入金伝票

(借) 現金	140,000	(貸) 売掛金	140,000
--------	---------	---------	---------

3. 山口商店より仕入 ※5伝票制なので、仕入伝票の金額はすべて買掛金となる。

仕入金額 ¥250,000 ⇒ 仕入伝票

(借) 仕入	250,000	(貸) 買掛金	250,000
--------	---------	---------	---------

代金のうち ¥180,000 は為替手形を裏書譲渡 ⇒ 振替伝票

(借) 買掛金	180,000	(貸) 受取手形	180,000
---------	---------	----------	---------

引取運賃 ¥24,000 は現金払い (仕入伝票に起票しない) ⇒ 出金伝票

(借) 仕入	24,000	(貸) 現金	24,000
--------	--------	--------	--------

4. 鳥取商店に返品

返品処理も仕入伝票を用いる。通常の掛仕入と逆の仕訳になる。

(借) 買掛金	32,000	(貸) 仕入	32,000
---------	--------	--------	--------

第5問

付記事項

商品注文の際に支払ったものであるが、商品はまた到着していないので、仕入ではなく前払金として処理する。

(借) 前払金	120,000	(貸) 仮払金	120,000
---------	---------	---------	---------

決算整理事項

1. 売上原価の計算

期首商品棚卸高は残高試算表より ¥2,280,000

(借) 仕入	2,280,000	(貸) 繰越商品	2,280,000
繰越商品	2,310,000	仕入	2,310,000

2. 貸倒引当金の計上

売掛金の期末残高は ¥825,000

$$¥825,000 \times 4\% = ¥33,000$$

差額補充法で処理するので、貸倒引当金残高 ¥10,000 を差し引き ¥23,000 を繰り入れる。

(借) 貸倒引当金繰入	23,000	(貸) 貸倒引当金	23,000
-------------	--------	-----------	--------

3. 減価償却費の計算

備品の取得価額は ¥2,400,000、耐用年数 6 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は

$$¥2,400,000 / 6 \text{ 年} = ¥400,000$$

(借) 減価償却費	400,000	(貸) 備品減価償却累計額	400,000
-----------	---------	---------------	---------

4. 有価証券の評価替え

有価証券評価益は ¥278,000 - ¥250,000 = ¥28,000

(借) 売買目的有価証券	28,000	(貸) 有価証券評価益	28,000
--------------	--------	-------------	--------

5. 消耗品費の処理

(借) 消耗品	18,000	(貸) 消耗品費	18,000
---------	--------	----------	--------

6. 支払家賃の繰延べ

(借) 前払家賃	240,000	(貸) 支払家賃	240,000
----------	---------	----------	---------

7. 受取地代の繰延べ

(借) 受取地代	25,000	(貸) 前受地代	25,000
----------	--------	----------	--------

8. 繰延資産の償却

(借) 株式交付費償却	50,000	(貸) 株式交付費	50,000
-------------	--------	-----------	--------

9. 法人税の処理

(借) 法人税等	246,000	(貸) 仮払法人税等	135,000
		未払法人税等	111,000